

一般社団法人 東京林業土木協会

第52号

会報

〒135-0016 江東区東陽4-11-38 令和6年1月1日発行（年1回発行）編集・発行人 小松 弘之



日本三景 天橋立

目次

新年のご挨拶【東京林業土木協会会長 小野 徹】	1
年頭のご挨拶【関東森林管理局東京事務所長 江坂 文寿】	2
令和5年度 主な協会活動報告	3
・東京林業土木協会定時総会及び治山・林道工事コンクール受賞報告会	3～4
・林野庁長官賞「治山・林道工事コンクール表彰式」	4
・林土連定時総会での表彰	4
・関東森林管理局長賞「治山・林道工事コンクール表彰式」	5
・「治山・林道工事コンクール」受賞工事	5
・三嶋大社で「安全祈願」	6
・令和5年度「東京協会幹部視察研修会」	6
・「森林土木工事における適正な発注事務に関する説明会」に参加	7
・森林土木施工管理講習会を開催	7
・「国有林野防災ボランティア実施」	8
・林土連「技術現地研修会」（青森）を開催	8
・第46回全国育樹祭式典に参加	9
・次世代の会「建設・測量生産性向上展」に参加	9
・「2023治山・林道のつどい」へ参加	10
・林土連「技術担当者連絡協議会」に出席	10
・林土連「コンプライアンス講習会・労働災害防止研修会」を受講	10
・令和5年度 技術安全会議及び安全パトロール	11～12
・令和5年度 ボランティア活動実施状況	13～14
・「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査」	15
・第26回「森林は友達！作文コンクール」を開催	16～18



新年のご挨拶

会長 小野 徹

新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、皆様方の益々のご清栄を衷心よりご祈念申し上げます。

◇ ◇ ◇
昭和38年、中学生だった私たち学年の卒業式は、体育館が改築中であったため、校舎の廊下を使って行われた。

中学校が、(当社施工の)戦時中の中島飛行機部品工場をそのまま使っていたので、広々とした廊下であったことから、このようなことが可能であったのだが、いずれにしろ卒業式にはあまりふさわしくない、寒々とした一時しのぎの場所で、PTA会長が「日本は、戦争に負けて三等国、いや五等国になってしまったが、一日も早く一等国にならなければならぬ。その為には君たち若者が頑張らなくて

は・・・」と、長々と挨拶(大演説?)していたことが思い出される。

その後日本は、東京オリンピックに向けて、東名高速や新幹線ができたことで、ようやく「三等国」を抜け出し、先進国らしくなってきたのだが、今でも、自動車産業など、一部の「超一流」の製造業を除けば、産業も、生活実感も「三等国」の域を脱してはいない。

その理由は、狭い国土でありながら、これをフル活用していない、特に国土の三分の二を占める森林・林野を、しっかりと活用していない、活用しようとする姿勢が見られないことに尽きる。

例えば、山林口に、諸外国にはあって当たり前の、大型トラクターが行き来できるような、山林・林野を貫く文字

通りの「基幹林道」ができてくるなど、目に見える形で本気度を見せられれば、本心は地元を離れたくない若者も、そこに残ろうとするだろう。

同様に、過疎地域において、一番辛い山奥の仕事を、『若者』に選ばれる『森林土木』にするためには、『山間僻地労働』に見合う給与・賃金や『休日』『年間を通じた仕事』『機械力・電子機器の導入』も必須だが、技能者・労働者が、恋人や家族・知人に向かって、『これは、俺が手掛けた工事だ』と、内外に誇れる『ICチップを埋め込んだ』『電子銘板』や、誰もが閲覧できる『HP』への記載が、絶対に必要だ。

技能者・労働者の「やり甲斐」「生き甲斐」「誇り」を、目に見える形で残すため、まずは「林野庁長官表彰」に輝いた工事の、これに関わった

発注者や、測量・設計者を始め、すべての従事者名を、「関東森林管理局のHP」へ掲載して欲しい」と訴えているので、皆さまのご理解・ご支援をお願いしたい。

「森林土木」の「働き方改革」とは、突き詰めていえば、――「生き甲斐」と「誇り」の回復・創出なのだ。



表敬訪問：関東森林管理局 志知局長



年頭のご挨拶

関東森林管理局 東京事務所長

江坂文寿

新年明けましておめでとうございます。

令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

東京林業土木協会会員の皆様には、常日頃から国有林野事業の推進に当たり、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。治山事業や林道事業の実施を通じた国土強靱化やグリーン成長への貢献はもとより、災害発生時には山地災害ボランティアとして、いち早く駆け付けていただいています。また、子供たちへの森林・林業の普及啓発として「森林は友達！作文コンクール」を主催していただくなど、多方面にわたって取り組んでいただいていますことについて、重ねて御礼を申し上げます。

近年は、気候変動に伴い短時間豪雨の増加や強度の強い豪雨が長時間継続するなど豪雨形態の変化により、激甚な災害が頻発しています。昨年は、6月の台風2号により静岡森林管理署や天竜森林管理署管内において、9月の台風13号により茨城森林

管理署や千葉森林管理事務所、磐城森林管理署において林地荒廃や林道施設被害が数多く発生しました。関東森林管理局管内では、昨年中に林地荒廃42か所、林道施設354か所などの被害が発生したところです（令和5年11月15日現在）。また、8月には静岡市葵区の民有林内で大規模な地すべりが発生し、地域住民19世帯に対して静岡市が自主避難を呼びかけました。現在、この地すべり対策を検討する委員会には大井川治山センター所長がオブザーバー参加し、地域の安全・安心に向けて協力しているところです。改めて、被害を受けた方々にお見舞い申し上げますとともに、応急復旧対策等にご尽力いただいた皆様に御礼申し上げます。地域住民の生命や財産を守るためには、防災・減災対策を着実に進めるとともに、災害が発生すれば速やかに被災地の復旧を行う体制が極めて重要と考えています。関東森林管理局としては、令和6年度におきましても、災害防止・復旧対策にしっかりと取り組んでいきたいと考え

ております。

また、昨年5月、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「2類相当」から「5類」へ移行され、経済活動や社会生活が徐々に回復してきました。しかしながら、ロシア・ウクライナ戦争に加えイスラエルとパレスチナの戦争が始まったことや、大幅な円安によって、燃料・資材などの諸物価が高騰しています。そのような状況下での工事施工にはご苦労が多かったことと存じます。協会会員各位をはじめとする関係者のご尽力に感謝するところです。

一方、関東森林管理局の職員が治山工事や林道工事に関わる収賄罪で有罪となる不祥事が、3年前に2件連続して発生いたしました。誠に痛恨の極みです。森林管理局・署では、現在も引き続き、不祥事の発生防止や国民の信頼回復に向けて、綱紀の厳正な保持を徹底する様々な取組を職員一丸となつて強力に進めています。協会会員各位におかれましても、私どもの取組についてご理解・ご協力いただきますとともに、会社を挙

げてコンプライアンスの徹底を図っていただきますようお願いいたします。

林野庁では、令和3年に新たな「森林・林業基本計画」を策定しています。この基本計画では、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げ、2050年カーボンニュートラルを見据えた豊かな社会経済の実現を目指しています。そのためには、基盤となる林道事業や治山事業の推進が不可欠です。協会会員各位には、今後とも労働災害の未然防止に引き続きご尽力いただくとともに、国有林野事業の推進のため一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京林業土木協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、新年の挨拶いたします。

令和6年 元旦

令和5年度 主な協会活動報告

■ 東京林業土木協会定時総会及び治山・林道工事コンクール受賞報告会

令和5年度の定時総会は、3月9日「ホテルイースト21東京」で開催しました。

定時総会では、小野会長の挨拶、来賓として林土連堂本専務理事から祝辞をいただき、引き続き議事に入り、令和4年度事業報告、決算報告及び会計監査報告、公益目的実施報告を説明し承認されました。続いて令和5年度の事業計画及び予算書を説明し総会が終了しました。

その後、開催された「治山・林道工事コンクール受賞報告会」には、来賓として、関東森林管理局次長（東京事務所長）江坂様、計画保全部長諏訪様、森林整備課長山本様、林土連専務理事堂本様が出席され受賞報告会が開催されました。

受賞報告会では、2月16日林野庁治山・林道工事コンクールで長官賞を受賞されました小野建設(株)小野大和様、同日林土連定時総会で、林土連会長表彰を受賞された正光建設(株)星島泰周様に会長から記念品の贈呈がありました。

また、林野庁長官賞及び関東森林管理局長賞の受賞工事を担当した現場代理人、主任技術者にも記念品が贈られました。



定時総会（小野会長挨拶）



総会出席者



受賞報告会（受賞者と来賓の皆様）
ミス日本みどりの大使 上村さや香さんを迎えて

定時総会、コンクール受賞報告会終了後、関東森林管理局との意見交換会を実施し、事前に会員から収集した課題について回答をいただきました。



■ 林野庁長官賞「治山・林道工事コンクール表彰式」

2月16日林野庁長官室において、令和4年度治山・林道工事コンクール林野庁長官賞の表彰式が行われ、治山部門は小野建設(株)が受賞されました。



林野庁長官賞受賞工事（治山部門）
小野建設(株)「小山地区（奥の沢川1外）直轄治山工事（R2三次補正）」

■ 林土連定時総会での表彰

2月16日林野庁表彰を受け、林土連定時総会においても表彰が行われました。また、林土連の発展に寄与された正光建設(株)星島泰周様に林土連会長表賞の授与式が行われました。



林野庁長官表彰治山部門受賞者



林土連会長表賞受賞者

■ 関東森林管理局賞「治山・林道工事コンクール表彰式」

3月8日関東森林管理局において治山・林道工事コンクールの関東森林管理局長賞表彰式が行われ、赤崎関東森林管理局長から表彰状が授与されました。当協会会員から治山部門で3件 清水建設興業(株)、河津建設(株)、小野建設(株)、林道部門で2件 (株)龍崎工務店、河津建設(株)が受賞し表彰されました。

また、2月16日に農林水産省において林野庁長官賞を受賞された小野建設(株)現場代理人 河合章裕様に関東森林管理局長賞が授与されました。

表彰式終了後、局長室において受賞者との意見交換を行い工事の概要等を各社から報告しました。



治山部門受賞者



林道部門受賞者

■ 「治山・林道工事コンクール」受賞工事

治山・林道工事コンクールの林野庁長官、関東森林管理局長賞表彰の工事は以下のとおりです。

林野庁長官表彰工事の、現場代理人・主任技術者等は関東森林管理局長表彰。

関東森林管理局長賞工事の、現場代理人・主任技術者等は東京林業土木協会会長表彰。

【林野庁長官賞】(治山部門)

テーマ	署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	管理技術者
施工管理	静岡	小山地区(奥の沢川1外)直轄治山工事(R2三次補正)	小野建設(株)	小野 大和	河合 章裕	河合 章裕

【関東森林管理局長賞】(治山部門)

テーマ	署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	主任技術者
コスト削減	山梨	野呂川赤沢崩直轄治山工事(R2三次補正)	清水建設興業(株)	清水 信之	奥田 政昭	奥田 政昭
技術提案	大井川センター	大井川地区(ホーキ薙)直轄治山工事(R2ゼロ国)	河津建設(株)	河津 市元	田畑 嘉紀	監理技術者 田畑 嘉紀
施工管理	伊豆	長野川地区復旧治山工事	小野建設(株)	小野 大和	間野 素夫	間野 素夫

【関東森林管理局長賞】(林道部門)

テーマ	署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	主任技術者
施工管理	茨城	藤兵衛沢林業専用道新設工事(R2ゼロ国)	(株)龍崎工務店	龍崎 真一	秋山 大輔	秋山 大輔
施工管理	東神	大又沢(大又沢)林道災害復旧工事	河津建設(株)	河津 市元	小澤 仁	小林 弘和

■ 三嶋大社で「安全祈願」



会員皆さんによる安全祈願（静岡県三嶋大社 4月18日）



■ 令和5年度「東京協会幹部視察研修会」

令和5年度当協会の幹部視察研修会は、協会創立70周年記念行事としコロナ禍が終息しないことから海外研修を断念し、総務委員会で検討した結果、令和4年度の迎賓館赤坂離宮が好評だったことを受け、6月28日から30日にかけて、京都迎賓館を中心とし大阪なんばグランド花月、天橋立、伊根の舟屋、^{ただし}糺の森下鴨神社等視察しました。

初日は、新大阪駅に集合しお好み焼きで有名な「ぼてじゅう本店」で昼食後、吉本劇場「なんば花月」でお笑いを満喫し、WBCワールドベースボールクラシックで決起集会をした「明月館」で夕食となりました。

翌日は、天橋立まで移動し海沿いに建つ「伊根の舟屋」を見学、昼食後、海上タクシーで海からも舟屋を見学しました。



天橋立



伊根の舟屋（海上タクシーより）



京都迎賓館

最終日は、京都御苑内にある京都迎賓館プレミアムツアーに参加し、建設にあたり大工、左官、建具、畳、庭園など11種類の伝統技能の技が使われ、調度品についても西陣織、漆、蒔絵、京指物など14種の技が活用された、我が国屈指の伝統技能の粋が現代に結集した他に類を見ない施設を見学し、昨年の迎賓館赤坂離宮とは違った趣がありました。

その後、糺の森下鴨神社において参拝をし協会の安全等お祓い後、歴史ある境内の案内・説明もしていただきました。

■「森林土木工事における適正な発注事務に関する説明会」に参加

関東森林管理局大会議室において、6月13日「選ばれる森林土木」キャラバンが開催され、林野庁業務課を中心とした説明者、発注者である関東森林管理局、治山・林道担当者、局近隣の署等担当者、受注者である(一社)前橋林業土木協会、(一社)東京林業土木協会各代表が出席し、管内の関係職員もWebで参加しました。

説明会は、全国の森林管理局でも実施しており、森林土木工事の現状や工事の積算等の改善の今までの取組、今後新たに実施する取組、ICTの活用事例など具体的な説明がありました。

質疑応答では、各協会の会員からの意見要望を議題とし、林野庁の見解を受け関東森林管理局職員も共通の問題提起になり、今後の工事受発注に役立つことを期待します。



■ 森林土木施工管理講習会を開催

令和5年度の森林土木施工管理講習会は、令和2年度から中止及びオンライン開催となっていましたが「ホテルイースト21東京」において7月31日、主任技術者・現場代理人等70名が参加しました。

今回の講習会はCPD公開プログラム開催となったため、開催に当たって公益社団法人 森林・自然環境技術教育研究センター（JAFEE）CPD管理室森貞様よりご挨拶を頂きました。

講義は、林土連堂本専務理事から「改正品確法を踏まえた森林土木工事のあり方」について講習を受け、「適正な利潤の確保に向けて」各協会からの事例を交えて、今後の発注者との対応等に役立つ情報の説明がありました。

午後は、関東森林管理局野澤治山課長から「森林土木工事における施工上の留意事項」、森林整備課太田設計指導官から「選ばれる森林土木の取組について」の講習があり、その後東京事務所からの資料「治山施設の設計基準について」「設計変更のガイドライン」を協会事務局から説明後、意見交換を行いました。



堂本専務理事



野澤治山課長



意見交換での説明（太田設計指導官）

■「国有林野防災ボランティア実施」

平成30年7月13日関東森林管理局長と協定締結した「国有林野防災ボランティア制度に関する協定書」に基づき、豪雨被害調査の要請があり防災ボランティアを実施しました。

台風第13号は、9月5日から7日にかけて日本の南を北上して、8日には東海道沖へ進んで熱帯低気圧に変わり、南から暖かく湿った空気が台風の東側に流入し、台風を中心から離れた場所で雨雲が発達して、関東地方や東北地方の太平洋側では、8日から9日にかけて大雨となり、線状降水帯が発生し観測史上1位の1時間降水量を観測した地点がありました。茨城県内でも県北部の北茨城、高萩、日立で道路の決壊、家屋の浸水が多発し、林地等の被害も大きいことから茨城森林管理署長からボランティア要請があり調査を行いました。



現地調査前の打合せ（茨城署）



国有林手前民地林道（路体流失）



路肩決壊

■ 林土連「技術現地研修会」（青森）を開催

令和5年度の林土連技術現地研修会は、11月7日～8日宮城県仙台市、松島町で開催されました。初日は室内研修で、仙台市「メトロポリタン仙台」の会場で、林土連小野副会長（新谷会長代理）の挨拶、宮澤東北森林管理局長から来賓挨拶、唐澤森林整備部長から「東北森林管理局の概要」、玉舘治山課長から「東北森林管理局における治山事業の取組（東日本大震災ほか）」の説明がありました。

翌日は、東日本大震災で被災した仙台市立荒浜小学校（津波が2階まで押し寄せた）を見学し、校舎の屋上で仙台森林管理署竹中署長から荒浜地区の防災林等の復興状況の説明を受けました。会員からは改めて震災による津波の恐ろしさを知ったと同時に早期避難の大切さを知りました。

その後、遊覧船による松島の島巡りで、船内からそれぞれの島の由来等説明を受けました。



荒浜小学校



屋上に避難の様子



被災前の学校周辺

■ 第46回全国育樹祭式典に参加

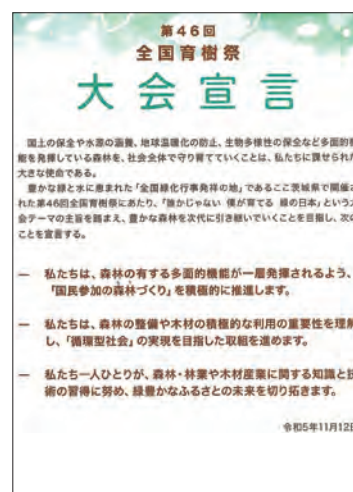
令和5年11月12日茨城県水戸市「アダストリアみとアリーナ」で第46回「全国育樹祭」いばらき2023の式典が開催され、林土連を代表して当協会から大藤副会長、小松事務局長が参加しました。

「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」を大会テーマとして前日に県内各地で記念行事が行われ、潮来市の「茨城県水郷の森」では平成17年全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木について秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ（枝落とし、追肥）が行われました。

式典では、大会会長の尾辻参議院議長、大井川茨城県知事の主催者挨拶、緑化功労者等の表彰、県内での林業・木材産業の成長産業化に向けた取組の紹介等があり、大会宣言の後、次期開催県の福井県知事に引き継ぎとなり終了しました。



秋篠宮皇嗣同妃両殿下（対緑の少年団）



■ 次世代の会「建設・測量生産性向上展」に参加

次世代の会（次世代を担う協会会員企業の役員等の会）では、5月25日千葉市幕張メッセにおいて、建機・重機・アタッチメント・建設D X・i-Constructionなど進化し続ける業界最先端の製品・技術サービスが一堂に集結した「第5回建設・測量生産性向上展」が開催され、会員7名がセミナー等に参加しました。

内容としては、三次元データの活用による建設D Xの実現、建設業におけるB I M/C I M導入セミナー、測量機器等の体験等で、今後の工事実施の参考となりました。



■「2023治山・林道のつどい」へ参加

11月22日日本海運会館において「2023治山・林道のつどい」に、当協会から大藤・植野副会長、小林・谷内理事、事務局が出席しました。

この会議は、頻発する山地災害や森林・林道被害を受け、地域の社会基盤である森林・山村を守るため、「緑の国土強靱化」のための治山事業及び森林整備事業の推進、林業成長産業化のための路網整備の協力的な推進等に向け、林野公共事業予算の拡充を実現するため、関係者一丸となった予算の確保のための活動・要請を行うことを目的としています。



主催者 山口会長挨拶



新谷林土連会長

■ 林土連「技術担当者連絡協議会」に出席

11月20日赤坂スターゲートプラザにおいて、技術担当者連絡協議会が林土連主催で開催され、全国協会から36名が参加しました。

会議は木下林土連技術・安全委員長の挨拶の後、各協会から提出された改善要望事項について、林野庁から回答、説明があり活発な意見交換がありました。

当協会からは

- ・直近の資材価格等実態に適合した適正な単価の採用
- ・現場条件に適合した建設機械の適正な選定
- ・新技術やコンクリート二次製品等の積極的な活用
- ・支障木処理経費の適正な見積価格の採用等による積算
- ・現地の実態に適合した仮設設工の設計と変更設計対応等を要望しました。



林野庁担当者

■ 林土連「コンプライアンス講習会・労働災害防止研修会」を受講

林土連主催で、11月21日赤坂スターゲートプラザにおいて、コンプライアンス講習会及び労働災害防止研修会が開催され、当協会からは河津コンプライアンス委員長、事務局が出席しました。研修会は堀川林土連コンプライアンス委員長の挨拶の後、林土連堂本専務理事から「最近の建設企業の不祥事の事例」の講義がありました。

労働災害防止研修会では、コンピューターシステム研究所松野様から「安全管理の基本と工事における計画・施工」と題して講演がありました。



松野講師

■ 令和5年度 技術安全会議及び安全パトロール

実施日	地 区	実施場所	実施内容	参 加 者
2.17	山 梨	甲 府 市 内	技術安全会議	山梨所 ※地区会委員
3.9	協 会	江 東 区 内	関東局との 意見交換会	関東局事業担当者 ※全会員
4.18	協 会	三 島 市	安全祈願・ 安全会議	東京事務所 ※全会員
5.24	協 会	事 務 所	技術安全委員会	※技術安全委員
7.7	山 梨	甲 府 市 内	安全祈願・会議	山梨所 ※地区会員
7.12	静 岡 東 部	伊 豆 市	安全祈願	伊豆署 ※地区会員
7.20	茨 城	北 茨 城 市	安全パトロール・ 技術安全会議	茨城署 日立労基署 ※地区会員
7.28	天 竜	浜 松 市 内	技術安全会議	※地区会員
7.31	協 会	江 東 区 内	施工管理講習会	関東局 林土連 ※全会員
9.27	静 岡 中 部	小 山 地 区	安全パトロール・ 技術安全会議	静岡署 ※地区会員
10.3	静 岡 東 部	河 津 町	安全パトロール・ 技術安全会議	伊豆署 下田労基署 ※地区会員
10.4	山 梨	野 呂 川 地 区	安全パトロール・ 技術安全会議	山梨所 甲府労基署 ※地区会員
11.8	山 梨	小 山 地 区	安全パトロール・ 技術安全会議	山梨所 静岡署 ※地区会員
12.4	協 会	江 東 区 内	技術安全委員会	※技術安全委員



山梨地区 野呂川（アザミ沢）



野呂川（カスケ崩）



野呂川（小太郎沢）



茨城地区 熊ノ倉林業専用道新設工事



静岡中部地区 小山地区（角取山1外）直轄治山工事

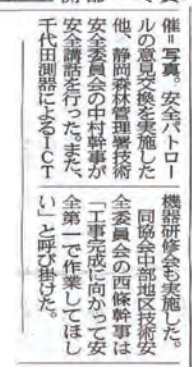
室内研修（小山町文化会館）



静岡東部地区 大鍋（南）地区復旧治山工事



安全講話



令和5年度 ボランティア活動実施状況

地 区	場 所	実施日	作 業 内 容	実 施 業 者
茨 城	茨 城 署 管 内	10.26	林道沿線の草刈等	(株)大藤組、(株)根本組、(株)龍崎工務店
山 梨	山 梨 所 管 内	11.30	道路清掃・ゴミ収集等	天野工業(株)、植野興業(株)、 国際建設(株)、小林建設(株)、 清水建設興業(株)、中沢工業(株)、 扶桑建設(株)
静岡東部	伊 豆 署 管 内	10.30	カープミラーの清掃・林道清掃等	東海建設(株)、(株)泉建設、小野建設(株)、 河津建設(株)
静岡中部	静 岡 署 管 内	9.26	林道沿線の草刈り・カープミラーの 清掃等	(株)白鳥建設
		9.30	カープミラーの清掃・ゲート周辺及び 林道内草刈り等	小野建設(株)
		10.5	林道沿線の草刈り・カープミラーの 清掃等	佐野藤建設(株)
		10.10	林道沿線の草刈り・清掃等	(株)木村組
静岡西部	天 竜 署 管 内	9.30	道路路面・側溝の清掃及び道路路肩草 刈り、遊歩道の清掃及び草刈り	(株)渡辺兄弟工業、(株)戸田建設、(株)中村組、 (株)川島組、正光建設(株)、(株)鈴木組、 三協建設(株)、中村建設(株)、(株)正久工業



茨城地区



山梨地区



静岡東部地区



静岡中部地区 (梅ヶ島)



(湯船)



(富士山)



静岡西部地区



■「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査」

趣 旨

この調査は、林業土木事業で使用する木製構造物の経年変化を長期にわたり観察調査し、施設の構造、規格、施工性及び維持管理方法を策定する基礎資料とするための調査です。

調査の企画、調査の実施、進行管理等の総括は(一社)日本林業土木連合協会が行い、具体的な現地調査、取りまとめの実施は各土木協会が実施します。

対象調査工作物は、木材の損症状況、施設の機能発揮状況等について行い、調査結果は毎年一定期間に取りまとめ選定した各施工箇所の評価は5年毎に行います。

木製構造物を設置してから15年経過した箇所（5年毎の第1回調査から3巡目）の令和5年度調査は、東京神奈川森林管理署管内平成21年度施工「高尾地区治山工事」丸太筋工、伊豆森林管理署管内平成20年度施工「滑沢復旧治山工事」木柵工の経過調査を実施しました。

高尾地区治山工事

前回調査と比較して、部材の腐朽劣化が進んでいて原型をкаろうじてとどめていますが、草本、木本の繁茂により斜面は安定しているため、山腹工の効果はでていると思われます。



H25 (2013) 調査



H30 (2018) 調査



R5 (2023) 調査

滑沢復旧治山工事

前回調査と比較して、木柵工が一部決壊していますが斜面は安定しています。



H25 (2013) 調査



H30 (2018) 調査



R5 (2023) 調査

■ 第26回「森林は友達！作文コンクール」を開催

令和5年度の第26回「森林は友達！作文コンクール」については過去最高の27団体（小学校25校、団体2）から2,071名の応募がありました。

各学校及び署等において第1次、第2次審査を行い、最終審査に残った作品を審査委員が各自審査し、Webによる審査委員会を開催、その結果下記のとおり受賞者が決定されました。（3月3日表彰式を江東区「ホテルイースト21東京」で行う予定でしたが、中止となりました）

- ①最優秀賞（林野庁長官） 1点
- ②優秀賞（関東森林管理局長） 5点
- ③ 〃（東京林業土木協会会長） 6点
- ④優良賞（東京林業土木協会会長） 18点
- ⑤努力賞（東京林業土木協会会長） 14点

趣 旨

これから未来を担う小学生（4年生～6年生）を対象に、森林や林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的として、平成10年度から開催しています。

この作文コンクールは、旧東京分局管内1都6県に所在する森林管理署や高尾森林ふれあいセンター等で開催された「森林教室・体験林業」に参加した小学生を対象に作文を募集し、作文コンクール実行委員会（一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所とで構成）で最終審査を行い林野庁長官賞をはじめ毎回約30名の方々を表彰しています。

平成10年度から続けており今回までの参加者総数は31,776名です。



最優秀賞（林野庁長官賞）相模女子大学小学部 4年生一戸紗代さん

表彰式が中止になったため、関東森林管理局東京事務所長が相模女子大学小学部に伺い表彰しました。



Webによる審査委員会



参加賞として全員に配られた木製温度計

第26回「森林は友達！作文コンクール」受賞者一覧

※各賞五十音順

賞 名	団体名	学年	氏 名	作 品 名
最優秀賞 (林野庁長官賞)	相模女子大学小学部	4年生	一 戸 紗 代	森林の未来のために今
優 秀 賞 (関東森林管理局長賞)	八王子市立第三小学校	5年生	飯 田 結 芽	高尾山の自然環境
〃	調布市立滝坂小学校	5年生	池 上 綾 音	未来に受け継ぐ生命
〃	八王子市立第三小学校	5年生	岸 明 香 莉	未来を生きる全てのために
〃	相模女子大学小学部	4年生	佐 藤 文 乃	私たちのヒーロー
〃	調布市立滝坂小学校	5年生	野 原 菜 由	自然を美しく思う心

賞 名	団体名	学年	氏 名	作 品 名
優 秀 賞 (東京林業土木協会会長賞)	八王子市立七国小学校	5年生	阿波根 みなみ	森林と生き物そして人
〃	相模女子大学小学部	4年生	櫻 林 詩 絵 里	緑のお隣さん
〃	江東区立第四砂町小学校	4年生	塩 田 花 実	わたされたバトン
〃	八王子市立元八王子東小学校	5年生	舟 山 空 琉	僕の最高の森林体験
〃	東村山市立南台小学校	5年生	吉 田 心 温	森林の大切さ
〃	西東京市立谷戸小学校	5年生	吉 野 葵	森林の知識を増やして活かそう
優 良 賞 (東京林業土木協会会長賞)	相模女子大学小学部	4年生	伊 藤 龍 光	森林からのプレゼント
〃	品川区立戸越小学校	5年生	大 澤 里 菜	高尾山の思い出
〃	甲府市立里垣小学校	5年生	春 日 さ く ら	「自然と人間の共在」
〃	品川区立戸越小学校	5年生	小 島 澄 佳	森と人とのつながり
〃	相模女子大学小学部	4年生	佐 々 木 薫	地球を守るのに必要なもの
〃	品川区立戸越小学校	5年生	佐 々 木 桃 香	動物と人間が住みやすい環境作り
〃	西東京市立谷戸小学校	5年生	新 屋 栄 樹	必要以上の快適さを求めず
〃	東村山市立南台小学校	5年生	鈴 木 夏 央	かけがえのない経験
〃	相模女子大学小学部	4年生	高 木 絢 望	私達の大切な緑のパートナー
〃	品川区立戸越小学校	5年生	高 根 沢 里 那	森を大切に
〃	世田谷区立松沢小学校	5年生	高 野 百 音	社会科見学を終えて
〃	調布市立滝坂小学校	5年生	早 川 愛 美 花	森林がもたらす幸せ
〃	八王子市立第三小学校	5年生	深 須 智 之	未来の八王子
〃	西東京市立向台小学校	5年生	星 野 碧	木と林業の大切な役割
〃	八王子市立七国小学校	5年生	宮 坂 杏 里	一人から始まる未来へのカウントダウン
〃	東村山市立南台小学校	5年生	村 上 花	森林を大切に
〃	調布市立富士見台小学校	5年生	村 山 結 香	高尾山で学んだこと
〃	東村山市立南台小学校	5年生	湯 浅 七 都 海	森林教室に行き、学び、考えたこと
努 力 賞 (東京林業土木協会会長賞)	甲府市立相川小学校	5年生	大 島 さ ゆ り	学校林に行って
〃	多摩市立連光寺小学校	5年生	小 川 莉 世	自然を学ぶ
〃	横浜市立谷本小学校	4年生	門 脇 美 都	森林センターで学んだ自ぜん
努 力 賞 (東京林業土木協会会長賞)	中野区立中野本郷小学校	5年生	川 原 彩 楓	美しい自然を守るために
〃	八王子市立第四小学校	5年生	倉 持 未 来	初めての森林世界
〃	荒川区立尾久西小学校	5年生	小 林 伶 偉	いろいろ知れた！森林学習
〃	町田市立成瀬中央小学校	5年生	佐 藤 董	すみやすい環境
〃	あきる野市立草花小学校	5年生	鈴 木 雪 月	森林の役割、自然への感謝
〃	町田市立小川小学校	5年生	高 橋 萌	みんなで学んだ社会科見学
〃	八王子市立上川口小学校	5年生	中 川 半 蔵	竹炭作りで学んだこと
〃	学童保育園子コロコロ	4年生	長 沼 美 来	森林教室を通して学んだ事
〃	多摩市立大松台小学校	5年生	野 溝 咲	植物を守る
〃	八王子市立秋葉台小学校	5年生	山 下 祐 依	森林学習で学んだこと
〃	ガールスカウト千葉市協議会	6年生	湯 浅 み の り	スカウトの森

森林の未来のために今

相模女子大学小学部 4年 一戸 紗代

私達四年生は十月十八日、社会科見学で高尾山にある、森林教室に行きました。バスの中では、ワクワクしているだけで、何も森林の深刻な問題について考えていませんでした。しかし、そんな風にできたのはその時だけで、林野庁の方のお話が進んでいくたびに、顔が曇っていきました。

私が森林の役割について知っている事と言え、酸素を作ってくれるということぐらいで、他の事も少ししか知らず、どこか人事のようにとらえていました。お出かけで森林を散策する時だって、植物を見て楽しむだけで、森林についてそこまで深く考えたことは一度もありませんでした。だから、林野庁の方のお話を聞いた時、始めて知ったことが沢山ありました。特に私が気になったキーワードは、「地球温暖化」です。その中でも人間のせいだという事を聞いて、とても胸が痛みました。だからまず、市や地域のゴミ拾いをするなど、私たちにできる事から始めようと決心しました。それから、森林に感謝しようとも思いました。林野庁の方のお話によると、人間一人の酸素を作るには、木が二三本必要で、家族四人では四六〇本、そして車一台に必要な酸素は一六〇本らしいです。森林がないと、私達が生きるのはほぼ不可能になってしまいます。森林には私達が気づかないうちにお世話になっているんだと実感しました。そう思うと、木の一本一本に「ありがとう」と言いたくなってきました。私達四年生は今、探求でSDGsの事を調べています。特に私の班は「陸の豊さも守ろう」という目標なので、もっと森林について知りたくなってきました。旅行で車に乗って山道を通るとき、私が住んでい

る街とは全くちがう、新鮮な空気が窓から入ってきます。この空気をすうと、とても良い気持ちになって、伸びをしたくなります。しかし、私達人間のせいで、私達が大人になる頃にはこの空気もすえないかもしれないと思うと、悲しくなります。だからそうならないためにも、私達が少しでもできることはたくさんあると思うので、ちょっとしたことでも今からやってみようと、この学習を通して学ぶことができました。森林の未来は、人間にかかっているのだと、分かりました。

ほんのちよつとの事だけど、ちよつとの積み重ねでも、大きなことにつながると思うので、森林のために今、少しでも自分が出来る事を今日からやっていきたいです。そしていつか、今以上にすてきな森林がどこにでもあるようにしたいです。

協会関係の今後の予定

- | | |
|-------|------------|
| 1月22日 | 東京協会第1回理事会 |
| 1月25日 | 林土連第1回理事会 |
| 2月15日 | 林土連定時総会 |
| 3月7日 | 東京協会定時総会 |